

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	多摩市鶴牧1-25-2
園名	キッズサポート多摩めぐみクラブ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

しゃぼんだま

<テーマの設定理由>

慣らし保育時に中々泣き止まない児がいたが、シャボン玉を飛ばすと嬉しそうに見上げていた。風の変化で飛び方が変わったり、光に反射して変わったり、大きい小さいが身近に感じられることを子ども達にも知ってほしかったから。

### 2. 活動スケジュール

【シャボン玉を見て感じる】4月

【シャボン玉を触ってみる。】4・5月

【水遊び中のシャボン玉】7・8月

衣服などが濡れてもいい環境で、シャボン玉機を使いいつもより多くのシャボン玉をだす。

【大きなシャボン玉を見て感じる】9月

【いつもとは違う環境でシャボン玉を見る】11月

シャボン玉ショー

【自分でシャボン玉をふけた時の喜びを感じる。】2月

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

道具→シャボン玉液・大小形の異なる枠・シャボン玉製造機・

環境→シャボン玉ショー

### 4. 探究活動の実践 <活動の内容>

【シャボン玉を見て感じる】

【シャボン玉を触ってみる。】

【水遊び中のシャボン玉】

衣服などが濡れてもいい環境で、シャボン玉機を使いいつもより多くのシャボン玉をだす。

【大きなシャボン玉を見て感じる】

【いつもとは違う環境でシャボン玉を見る】

シャボン玉ショー

【自分でシャボン玉をふけた時の喜びを感じる。】

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

身近なシャボン玉に着目しテーマにしたが、予想以上に子どもたちが喜んでいる姿がどの活動にも見られた。シャボン玉を通して大きい小さいの違いが分かるようになったり、沢山と言うことが分かったり普段の何気ない成長過程を大人が意識して感じられたことはとても良かったように感じる。

動きの少ない児は見て楽しむ、活発な児は追いかけたりジャンプをして楽しむ。より興味が出てきた児は自分で吹いて楽しむ。など活動を強制ではなく乳児ならではの個人差によつてのそれぞれの楽しみ方もあってよかった。

## 5 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき

【シャボン玉を見て感じる】【シャボン玉を触ってみる。】

泣いている児もシャボン玉を見て「あっ！」と言って指を差して目で追いかけていつの間にか泣き止んでいた。タッチといってシャボン玉に触れようと追いかけて触れることができると喜んだり、他児が触れることができている様子を見て拍手をしている児もいた。

【水遊び中のシャボン玉】

いつもは大人が出すシャボン玉を追いかけていたので少量だったのがシャボン玉の機械によって大量に出てくるシャボン玉を見て喜んでいて。いっぱいと言って大量なシャボン玉の中に入ってみたり、量が多くて少し怖がっていた児は少し離れたところでシャボン玉が出てくる様子を楽しんでいた。

【大きなシャボン玉を見て感じる】

いつもとは違う大きさのシャボン玉の違いが分かったようですごーいと言う児が多かった。小さいシャボン玉も出しているとより分かったようで「おおきいね」と大きいシャボン玉を指さす児もいた。

【いつもとは違う環境でシャボン玉を見る】

シャボン玉ショーでは自分もシャボン玉の中に入ることができ、とても喜んでいて。また他児が中に入っている様子を見て拍手をする児もいた。色が付いたシャボン玉も見ることができて触った時に煙が出る不思議な光景に驚いている児もいた。

【自分でシャボン玉をふけた時の喜びを感じる。】

自分でも吹きたいと、シャボン玉の容器を持ってきたりと、シャボン玉が身近な存在になった。吹き方にも慣れてきてほとんどの児が自分でシャボン玉を吹くことができた。

## 活動

